

ジュース用トマト登録農薬適用表(1) (殺菌・除草・展着)

契約先の基準です。基準以外の農薬の使用は控えて下さい

登録内容は2022年9月1日現在

用途	毒劇	FRACコード	薬剤名	使用時期	使用回数	倍率・使用量(10a当り)	100g調整時薬量	適用病害虫	予防	治療	剤型	使用方法	成分名	備考
殺菌剤		M5	ダコニール1000	播種時又は活着後 但し、定植14日後まで 収穫前日まで	4回以内 (土壌注法は2回まで)	1,000倍 (32/1㎡)	—	苗立枯病(リゾクトニア菌)	○	×	フロアブル	土壌灌注	TPN	同成分剤の使用回数に注意
		11、M5	アミスターオプティフロアブル	収穫前日まで	4回以内	1,000倍 (100~300g)	100ml	疫病、葉かび病、輪紋病、褐色輪紋病、うどんこ病、灰色かび病、炭疽病、すすかび病	○	○	フロアブル	散布	TPN、アゾキシストロビン	同成分剤の使用回数に注意
		11	アミスター20フロアブル	収穫前日まで	4回以内	1,000倍 (100~400g)	100ml	疫病、葉かび病、炭疽病 灰色かび病、すすかび病、斑点病	○	○	フロアブル	散布	アゾキシストロビン	同成分剤の使用回数に注意
		M7	ベルコート水和剤	収穫前日まで	3回以内	3,000~6,000倍 (100~300g)	33~17g	灰色かび病、葉かび病	○	×	水和剤	散布	イミクダジナルベシル酸塩	
		1	トップジンM水和剤	収穫前日まで	5回以内	1,500~2,000倍 (100~300g)	67~50g	灰色かび病、菌核病、葉かび病	○	○	水和剤	散布	チオファネートメチル	
		1、10	ゲッター水和剤	収穫前日まで	5回以内	1,000~1,500倍 (100~300g)	100~67g	灰色かび病、菌核病、葉かび病	○	○	水和剤	散布	ジエトフェカルブ、チオファネートメチル	
		7	カンタスドライフロアブル	収穫前日まで	3回以内	1,000~1,500倍 (100~300g)	100~67ml	灰色かび病、菌核病、葉かび病	○	△	顆粒水和剤	散布	ホスカリド	
		11	ファンタジスタ顆粒水和剤	収穫前日まで	3回以内	2,000~3,000倍 (100~300g)	50~33g	灰色かび病、葉かび病、菌核病、 斑点病、すすかび病	○	○	顆粒水和剤	散布	ピリベンカルブ	
		11、27	ホライズンドライフロアブル	収穫前日まで	3回以内	1,500~2,500倍 (150~300g)	67~40ml	疫病	○	○	顆粒水和剤	散布	シモキサニル、ファモキサトーン	
					2,500倍 (150~300g)	40ml	葉かび病							
		21	ランマンフロアブル	収穫前日まで	4回以内	1,000~2,000倍 (150~300g)	100~67ml	疫病	○	○	フロアブル	散布	シアゾファミド	
		40	レーバスフロアブル	収穫前日まで	3回以内	1,500~2,000倍 (100~300g)	67~50ml	疫病	○	×	フロアブル	散布	マンジプロバミド	
		24、M1	カスミンボルドー	収穫前日まで	5回以内	1,000倍 (100~300g)	100g	疫病、葉かび病、輪紋病、斑点細菌病、 かいよう病、軟腐病	○	○	水和剤	散布	カスガマイシン、 塩基性塩化銅	
		M1	ICボルドー66D	—	—	50倍 (100~300g)	2g	疫病	○	×	水和剤	散布	塩基性硫酸銅	
		M1	Zボルドー	—	—	400~600倍 (100~300g)	250~167g	疫病、輪紋病	○	×	水和剤	散布	塩基性硫酸銅	
					500倍 (100~300g)	200g	すすかび病							
	M1	ドイツボルドーA	—	—	500倍 (100~300g)	200g	疫病、葉かび病、斑点病	○	×	水和剤	散布	塩基性硫酸銅		
	—	石灰ボルドー液	—	—	4~4式ボルドー液	—	疫病、夏疫病	○	×		散布	生石灰		

※「アミスターオプティフロアブル」は展着剤と混用しない。(葉害の恐れがあるため)

用途	毒劇	薬剤名	使用時期	10a当り使用量	使用回数	適用雑草	剤型	使用方法	成分名	備考
雑草除草剤 (非選択性)		ナブ乳剤	雑草生育期イネ科雑草3~5葉期(収穫14日前まで)	150~200ml (100~150g)	1回	一年生イネ科雑草(スズメカビラ除く)	乳剤	雑草茎葉散布	セトキシジム	
		バスタ液剤	雑草生育期定植前又は畦間処理(収穫前日まで)	300~500ml (100~150g)	3回以内	一年生雑草	液剤	雑草茎葉散布	グルホシネート	

# ジュース用トマト登録農薬適用表(2) (殺虫)

登録内容は2022年9月1日現在

用途	毒劇	IRAC コード	薬剤名	使用時期	使用回数	倍率・使用量(10a当り)	100g調整時 薬量	適用病害虫	効果 発現性	残効性	剤型	使用方法	成分名	備考
殺 虫 剤		1B	ネマトリンエース粒剤	定植前	1回	15~20kg	—	ネオブセンチュウ	—	—	粒剤	全面 土壌混和	ホスチアゼート	
		4A	ベストガード粒剤	育苗期	1回	1~2g/株	—	コナジラミ類、アブラムシ類	中	長	粒剤	株元処理	ニテンピラム	
		定植時		1~2g/株		—	アブラムシ類、コナジラミ類	植穴処理土 壌混和						
		2g/株		—		ハモグリハエ類								
		4A	ベストガード水溶剤	収穫前日まで	3回以内	1,000~2,000倍 (100~300g)	100~50g	アブラムシ類、コナジラミ類、アザミウマ類 クロハネキノコハエ類	中	長	水溶剤	散布	ニテンピラム	
	劇	4A	モスピラン顆粒水溶剤	収穫前日まで	3回以内	2,000倍 (100~300g)	50g	アブラムシ類、コナジラミ類、アザミウマ類	中	長	顆粒水溶剤	散布	アセチアブド	
		28	ブレバソフフロアブル5	育苗期後半~定植当日	1回	100倍(1株当り25ml) 又は200倍(1株当り50ml)	—	ハモグリハエ類、コナジラミ類	速	長	フロアブル	灌注	クロラントラニプロール	
		収穫前日まで		3回以内	1,000~2,000倍 (100~300g)	100~50ml	ハモグリハエ類	散布						
		2,000倍 (100~300g)		50ml	オオタバコガ									
		28	フェニックス顆粒水和剤	収穫前日まで	2回以内	2,000~4,000倍 (100~300g)	50~25g	ハスモンヨウ、オオタバコガ	速	長	顆粒水和剤	散布	フルベンジアミド	
		20D	マイトコーネフロアブル	収穫前日まで	1回	1,000倍 (100~300g)	100ml	ハダニ類、トトサビダニ	中	中	フロアブル	散布	ピフェナゼート	
		UN、M10	モレスタン水和剤	収穫前日まで	5回以内	1,500~2,000倍 (100~300g)	67~50g	コナジラミ類、トトサビダニ	中	中	水和剤	散布	キネザリン系	
		5	スピノエース顆粒水和剤	収穫前日まで	2回以内	5,000倍 (100~300g)	20g	オオタバコガ、ハモグリハエ類、アザミウマ類	速	短	顆粒水和剤	散布	スピノサド	
		6	アフーム乳剤	収穫前日まで	5回以内	2,000倍 (100~300g)	50ml	オオタバコガ、トトサビダニ、コナジラミ類、 ハモグリハエ類	速	短	乳剤	散布	エマメクチン安息香酸塩	
		6	コロマイト乳剤	収穫前日まで	2回以内	1,500倍 (100~300g)	67ml	ハモグリハエ類、トトサビダニ、コナジラミ類	速	短	乳剤	散布	シルベメクチン	
		6	アニキ乳剤	収穫前日まで	3回以内	1,000~2,000倍 (100~300g)	100ml	コナジラミ類、ミカンキロアザミウマ	速	短	乳剤	散布	レピメクチン	
	2,000倍 (100~300g)	50ml	オオタバコガ、ハスモンヨウ、ハモグリハエ類、 トトサビダニ											
	11A	エスマルクDF	発生初期(収穫前日まで)	—	1,000~2,000倍 (100~300g)	100~50g	アオムシ、コナガ	中	中	顆粒水和剤	散布	BT		
	1,000倍 (100~300g)				100g	オオタバコガ、ヨトウムシ								
	11A	トアローフロアブルCT	発生初期(収穫前日まで)	—	500~1,000倍	200~100ml	オオタバコガ	中	中	フロアブル	散布	BT		
	1,000~2,000倍				100~50ml	アオムシ、コナガ								
	11A	チューンアップ顆粒水和剤	発生初期(収穫前日まで)	—	2,000~3,000倍 (100~300g)	50~33g	アオムシ、コナガ、オオタバコガ、ハイマダラノメイガ	中	中	顆粒水和剤	散布	BT		
	2,000倍 (100~300g)				50g	ヨトウムシ								
	3,000倍 (100~300g)				33g	ウリノメイガ								